

2006年度 ゆきとどいた教育をすすめる

全国 3000 万署名・推進ニュース NO. 2

発行日: 2006年7月25日 発行: 全教・日高教・教組共闘

北海道 6月3日、「スタート集会」開催！

北海道では、6月3日に「スタート集会」を開催し、例年より早く「全国3000万署名」をスタートさせました。なぜ、早めたのか、ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会の「3000万署名推進ニュース」から、紹介します。

9月道議会に第一次署名提出！

道教委は、2月に、新たな「高校教育に関する指針（素案）」を発表しました。その内容は「40人学級」のままで、大規模な高校統廃合と差別的な「多様化」再編をねらうものです。しかも、道教委は、「高校教育のあり方」という重要な「指針」を年内にも決めようとしています。

私たちは、「希望するすべての若者に高校教育の保障を」との要求を掲げ、道教委の「暴走」に歯止めをかけるため、今年は署名のスタートを早め、9月議会に第一次の署名提出を行うことにしました。

「私学助成の会」より先に単独で活動を開始しますが、共同でとりくむことは今までと変わりません。

このように、大規模な高校統廃合に対するとりくみを重視し、道議会にむけた署名の第一次提出を9月20日頃に行い、第二次提出は12月1日に行う計画で、例年より早い6月3日に「スタート集会」を開催し、現在、全道で署名が取り組まれています。

スタート集会には、教職員・保護者など60人が参加。北海道合同法律事務所弁護士の内田信也さんが「条例づくりから見える子どもの権利・大人のホンネ」というテーマで、講演されました。その後、新婦人や、夕張、富良野から署名にとりくんだ経験やそれぞれの思いが語られました。

2006年度の運動について
署名目標：全道100万筆
署名期間：6月～11月
署名提出：第一次 9月20日頃
（目標の50%）
第二次 12月1日（予定）
紹介議員の要請：7月～11月中旬

旭川では7月1日に「スタート集会」開催し、第一回街頭署名行動を展開

「3000万署名旭川スタート集会」が、7月1日に、34名の参加で開催されました。道高教組乳井副委員長は、基調報告で「今年の『ゆきとどいた教育をすすめる』運動は、『教育基本法』の問題と『新高校指針』の問題を切り結ぶ重要な運動であること」と、話されました。その後、各参加団体より「父母が求める教育のあり方」などについて活発な意見交流がおこなわれました。

そして集会後、「2条買物公園」で17名が参加し、「第一回街頭署名行動」が行われ、81筆の署名を集めました。（「道高教組情報」より）

< 全国3000万署名「推進資料」の活用を >

今年度の全国3000万署名の成功にむけ、ちょっとした工夫をしています。風船の文字を大きくしました。ポスターもより目立つように工夫しました。そして、「ゆきとどいた教育をすすめる全国3000万署名推進資料」を作成しました。この「推進資料」が分かりやすいと大好評です。（折るのが大変！との声もありますが）すでに、幾つかの組織から、もっと送ってほしいとの要望が届いています。

「推進資料」は、先週までに各組織に送付しましたので、積極的な活用をお願いします。なお、さらに必要などときには、ご連絡ください。